條實孝公(火曜)シャム公

学 小心大概政務大部代解山城局長ま を見長東郷安男(公正)の報告あ

安産業の統制に関する法律

真長清剛長電子(研究)の

各種法案を

一瀉千里で可決

衆議院本會議(廿五日)

配験會より

かしたものだ。 かしたものだ。 かしてみやう。 唯今、一般市民の増税能力は大 概後の好況時 代より半減しても るでせう、こ るでせう、こ るでせう、こ るでせう、こ

をあぐれば、もこ五六様体の者 をあぐれば、もこ五六様体の者 を育かやつてゐます、また大連 等官がやつてゐます、また大連 等にもたこさもあります。高等 変にしたこさもあります。高等 変にしたこさもあります。高等 でもなり、自動車を自由に乗り でしてもお役所の観報は必必 でした。

■位の総建しか使へないのと連門位の総建しか使へないのと連

制能で原衆可決能定の報告通り

一時三分休憩、

|十五日景|| 総終日二十五|| 否を贈るに踏り膨大大郎氏(足) 競院本會議は午前十一時二|| 成の買っ造べ多駅を現て散炭院の電子 日程に入り政府提出|| 飲正に養成さ決定、次で森田蔵氏|| 一名摂出の

會議は午前十時四十分際議院職

弊あり、親子關係を物質化する

四、關稅定率法中改正法律案(同上)

三件に関する法律に関する法律

選灣法施行

產業糾合法中改正

法律案、外

貴族院本會議(中五日)

たもので創版行中日本へ到着の最近の個質点である。 欧洲御巡遊中の高松宮両殿下

鞍

刊 9

日五十二月三

ふから三日間連續的に

よく、二十五、六、七の三日間にわたつて連續的に行はれる筈であるとく、二十五、六、七の三日間にわたつて連續的に行はれる筈であるりが動光低地公使も本日聴入京してことに全く離解れが搬つた総製、祭司公使の法 縄 交渉はいソン英公使も整阵山の旅行から減りウイルデン佛公使も着等して廿四日王州突部長と會見を貸しまたソン英公使も整阵山の旅行から減りウイルデン佛公使も着等して廿四日王州突部長と會見を貸しまたソン英公使も整け五日騒』ジョンソン米公使、オーアンオランダ公使は軽に南京に源在3年であり、ラムア【上海特電廿五日騒】ジョンソン米公使、オーアンオランダ公使は軽に南京に源在3年であり、ラムア 事

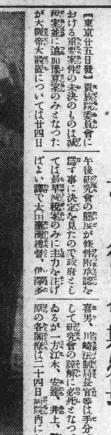
樂觀

上海租界治廢反對 法權交渉の

界内の法権は総對に放棄すべからずき主張してゐるのでこの問題は突派の一大策監大に樂觀と一週間以內に解決するであらうさ見る、しかと上海における祭職人は上海租上海租人上海特電廿五日韓』英米佛和公使さ王正廷氏の法權交渉は今や最後的のものされつたが支那艘では

本日中に採決困難の場合は 止むを得ず會期延長

滅稅案通過



が多くは都市に多少域をされる全盤が が多くは都市に多少域をされる全盤が が多くは都市歴代者である関係上 が多くは都市歴代者である関係上 が多くは都市歴代者である関係上 「東京二十五日登」 貴族院研究會 通過するやう極力努力するが要はの避長かなさず二十五日中に案の 人阪帝大費問題 研究反政府系承認か

(数本数布決論を鳴へ殊に世四日の を表情でなる。 を表情でなる。 を表情でなる。 を表情でなる。 を表情でなる。 を表情でなる。 を表情である。 を表情でも。 を表情でも。 を表情でも。 をまる。 を。 歌に入り紫藤宮田光雄氏よ帝大熊諤問題に関する態度

十名の一行は二十四日午前六時四十四分看州車にてハルビンより來 長、小憩の後同八時三十八分輕天 で配つたが、氏は在長の膨懸名に で配ったが、氏は在長の膨懸名に 刑事補償法委員會 東省特別區行政長官縣最二氏外二

三十分開會、全會一致限繁を可決版際無事神徹波委良會は午前十時

と十時三十五分散會し四十二年出作第二十二 四十二年出作第二十二 を変験會は午前十時十 を一致原家通り可決し

計

議

は道文法 の目量すそれはも をはなかつたので後を追ひかけるところさ、日支

けふ出發

は會は概づたが野議話と変が

間保改正、

產業統制

を上程前場一次 ・請願第一乃至第二 ・ 「

希望決議附で

可決

渡部長木村鋭市理事は松陽部前同 銀道交渉で多忙な日を送る巌鏡交 い様子で乗船、慌たくらい裡に語れる見送り裡に出帆直前春仕度の軽

往復二週間位で大急ぎの旅だ

不村理事ける東上

世日本に は好意を持つてあるが、支那の人達は 記する人があるが、支那の人達は 記して進めばれい、だが思ふやうに行かないのはそこにデリケートな問題があるのさ、機数は出級のその後の 野島ないものだれ、があるのさ、機数は出級ので進めば無 に入った前難だけでまく知らないが大・た神様だけでまく知らないが大・た神様だけでまく知らないが大・た神様だけでまくからで心配する様になった。 おかげて大分よくなったよ

草場囑託將校 塚本關東長官

▲山崎恒四郎氏(遼陽領事) 二十五日午前八時着列車にて來達※

電車京特電二十五日登 ・ 本関東長電は乗る三十日午後一時 ・ 変素に起く撃定で全度は乗る三十日午後一時 ・ 変素に起く撃にできませる。 ・ なる音が変素が表現されている。 ・ なる音が変素がある。 ・ なる音が変素が表現されている。 ・ なる音が変素がある音が変素がある音が表現できます。 ・ なる音がある音が変素がある音が表現できます。 ・ なる音がある音が表現できます。 ・ なる音がある音がある音が表現できます。 ・ なる音がある音がある音がある。 ・ なる音がある音がある。 ・ なる音がある。 ・ なる。 來卅日發歸任

蛇角

日比谷座于秋樂。春の風ポカポ

力さ吹く。 安達さん、お監標道の腹が置めぬ 0

ンプロ失業養成所が又一つ増える。 大阪に帝大が又一つ増える。イ **養見された。大いに誇るべき大世界的に珍しい六胎見が名古屋**

支那の財政改革と

日本との關係調査

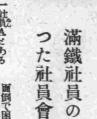
國際聯盟のソ氏渡日

の方の糸外辺職で平等条紋を際止した。だから儒 に選を支那は廃止した。だから儒 が関配した。だから儒 元明さ大將は松大師既分に相當するの大將は化大師既分に相當する してくれていふ謎ではない。

財祭されてゐる 東所に通知があった氏の來報は管 をが配に執り極めて有意義の事と をが配に執り極めて有意義の事と をが配に執り極めて有意義の事と







作

諸銀の膨下で一社員Aとある 週給にするさうだから近頃流 見るさ自分の給料を旬給にするさいふのが社員の意見、これで

か月掘にするかの問題に直蔵しながら高銀社員はあまり軸転し

行の現金質勵行に都合がよく

この問題はさつばり中での問題はさつばり中

と答だが、一方かうした自分自 我なら傑事もごく簡単に片がつ 我なら傑事もごく簡単に片がつ な、それであながら無いない。 いふ場合にはいことと が成かの体との体との体との体との体と であるにはいことと であるにはいるとと であるという。 は、これであるながら無い。

見を高れてあるらし

邦人醫者來住を

は高れない

鐵道交渉打合せに

張景惠長官語る 成立に致府さんて經典を記録を表して、一般のでは、政府を表し、一般のでは、政府を示して、一般のでは、政府を示して、一般のでは、政府を示して、一般のでは、政府を示して、一般のでは、政府を示して、一般のでは、政府を示して、一般のでは、、一般のでは、、一般のでは、、一般のでは、、一般のでは、一般

一二十五日中に窓の通過配鑑さ見 られる場合は直に際議を開き合助 延長の手觀を探る事さするが延長 がは委員會無議の經過によって決 をする事に意見の一致を見た

参議院長は辭退

到底その重任には堪へぬ

はちご幅ない感じがする。

いものであるから政府は凡ゆる勢いても反政府窓の飛送に「難した性まないが問題は破気音の態」るからこの問題を指導探決等につして登成して更へるならば全身延、同餘に取り膨繁を救めそれより直である。この監修に御考慮ಪ力をになってある。この監修に御考慮ಪ力をに近末、安孝、漢潔、谷歌歌に遊びたい、なほを最合の影響についても定しく何考慮を願ふさ一時任命

『天建特電廿五日盤』歩兵第四十 五職隊大隊長に禁輸した吉岡安直 が陸1 鉱州方面を誤察中であつた が静3 居留民希望

復興中の鄭州の近況

本域野中へ(廿五日財社報) 準額事務所海源長技師開根四男吉 不在中代理な命す 不在中代理な命す

容は、本日午前九時診察の結果た 仙石總裁容體

佐野軍經理部長 時代の智・にあるとの月中旬近に東京出登論

新任後初上京

授士の所台はタゲビ 命生の庭家は所台



前八時三十分大連港外着の豫定



達用卻省內官

水が水になるさ取縮する

湖面より低い陸地はない

聖音機けニュートンが登明した

温が見えて月が見えの夜もある

耐油を使って走る汽船もある

2の10乗は210である

制油大戦にイタリヤはフランスさ

ドルはイギリスのお金の単位であ

佛教さキリスト教さだけが宗教さ

陪審制度はまだ日本に行はれて居

コンクリートは石灰さ砂さで出来

滅氏物語は源氏さ平家さのいくさ

直径が2倍になれば球の機種は8

銀行はお金を預かる所でお金を借

日本の通商開國は徳川未期のこさ

人造絹糸は生糸の層から造る

色の見分けのつかね人もある

動力は電氣にして遠方に送れる

アイヌは樺太に住む土人である

日本は日清戦争の結果関東州を租

ダーウインの進化論は化學に関す

観告の中には信じてならないもの

協議本線は大連からヘルピンに至

酸素2さ水素1さの割合で化合す

レイルは冬伸びて夏縮む

市町村は自在開體である

活動窩貫は有害無益である

数氣も液體になる

例は山からもされる

戦った

は限らわ

tev

物語だ

倍になる

である

借した

る學数だ

れば水になる

性力にある

調東州は九州より襲い 夏目漱石は小説家である

2月はいつも28日である

手球はイギリスが一番盛だ

ムッソリニはロシャ人である

飛行機は海峡に不必要である

支那は金貨本位の國である

人生に娛樂は不必要である 協族の目的は犯人を捕へるこさだ

5番1700年代を17世紀さ言ふ

(1】正直は成功の基なり」さ云ふ

診がある。併し或人は不正直に

してるて成功した。 從つて上の

砂糖は甘蔗以外の物からも澤山さ

635

す所ではない

正否

答束向西向南向北向

(4)1キロの肉を焼くには30分を

要し・2キロの肉を焼くには45

分・3キロでは1時間・8キロ

では2時間15分・9キロでは2

時間中を要すると言ふ。15キロ

の肉を焼くには何時何分間を要

(5)商品は値段を安くすれば・商

品一個の儲けは減るが●澤山嶺

れる。從つて値段を安くすれば

する程・全部の儲けはいつも増

えてくる。これは正しいか。誤

つてあるか答に〇を書ける

答正否

(6)私は郵便局を出て真つ壺ぐに 100間歩いた。それから四つ角を 右へ曲つて真直ぐに50間歩み・

又四つ辻か右へ曲つて・真直ぐ

に100間歩いた。そうするさ私は

郵便局からいくら隔たった所に

(7)大連から内地へ行ったさき。

時計を1時間なほせさ云はれた

それなら私は進めてよいのか・

おくらせてよいのか。その答に

答進メル・オクラス

(8)「何故一般に都會は田舍に比

べて不健康地であるか」さの間

に對して・甲は「田舍は都會に比

べて人家がまばらであるから」

を答べた。乙は「都會には田舍

より病人が多いから」さ答へた

丙は「煙や埃などの貨都會の空

氣はひごく汚されて居るから」

き答へた。 丁は「田舎の家は一 般に暗くて小さく。建て方も組

末だから」さ答へた。誰の答が

一番適切であるか。それに〇を

(9)柿は5錢で3ツ・梨は20錢で

3ッ買へる。今50後銀貨を出し

て柿9ツさ梨3ツさを買つたら

(10)こゝは道の四ッ辻である。私

きたい。右へ行く道は村へ行く

のだじ・前の道を資直に行けば

野原である。町はざの方向にあ

るか。その方向に〇を書け。

...錢

いくら釣銭がもらへるか。

甲乙丙丁

するか。

あるかっ

〇を書け。

日

一千五百圓をゆすつて逃亡 保險勸誘員も介在か

長岡貴院議員

召喚狀の

失態

豫審判事の手落と判明し

法相が陳謝

なかった底肌の片山は主人吉心を発行したさいはれ、この極事

三葉(時間三千圓程度)に就ら不一葉を続か、昨年末所有タクシー 氏に黙して不正を暴躁する」と然 で 古川氏の放火診験事性に就き活動 で 吉川氏の放火診験事性に就き活動 で 吉川氏の放火診験事性に就き活動

郷所小桃黛歡兜事の召喚版を持数

勞作展で 來て東京地方裁 はないかと

慨し てあるされな

着を除いては速を天にまかせて一に答案を探かり大助力で影響を開から、計成日の受験者名は廿五日グが、計成以一同は直に答案を探かり大助力で影響を開いては実施大食業で養表される。

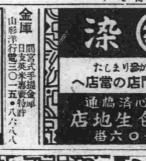
直に得るので外部より無いだき をあるので外部より無いだき をあるので外部より をあるので外部より に御用さなった 出版。

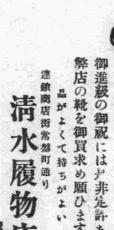
鋭して閉ち込

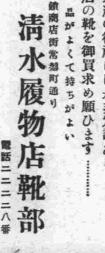
一一 田宮貞樂一座 待望久しき

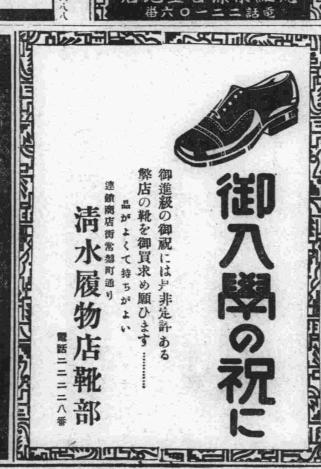
精神病者か

キユービー









六和昭 = 月 E 矢先、またら目家に放火して一 し紙高保殿の繁智を呼ばれてる し紙高保殿の繁智を呼ばれてる かられば明美濃町、 本月孤明美濃町 ・以も主人から内地の広覧院山干多 ・以も主人から内地の広覧院山干多 ・以も大きで、大連で駅心を ・できないの代金千五百回 ・できないの代金千五百回 ・できないで、選続町で ・でいると、 ・でい 車庫に で

職に出機が合はのので観山吉川牧 もり和田被事は頭に岸山にかき蔵 あり和田被事は頭に岸山にかき蔵 あり和田被事は頭に岸山にかき蔵 まに終まるが火部が事べたもの まに終まるが大部が多い まに終まるが大部がある。 の好き職くべき犯罪が秘められて 聴緩の下に内償か進めたこころ次 職場の下に内償か進めたこころ次 また超過保険の弊 三名を出すものさ見られてゐる 市營住宅の 値下

けふ發表さる

病院焼く

国であるな之れより百二国を減緩 でカラックであったが、いまくく甘五 での内容は様町、横町、繊索町、 一萬一千四百九国五十銭であるな 之れより七百五十二国五十銭を滅れて一萬六百五十七国に改正。 一二十八戸は現在月緩寒戦へ 一二十八戸は現在月緩寒戦へ 一二十八戸は現在月緩寒戦へ での内容は様町、横町、繊索町で での内容は様町、横町、繊索町で での内容は様町であるな とれより七百五十二国五十銭を滅れて一萬六百五十七国に改正。 文集中であったが、いよく、廿五大連市役所では市會の決議に続て調査

校の芸蔵風景と同の強りもない。 講鑑の中等學校卒業生の社就採用 連職第一日は廿五日午前九時から 職生高女の教芸で信はれた、受職 資権者五百三十八名中總離者は約 三十名、十八鑑から廿七鑑までの 帯年が一心不観に 人や弟の成績如何を氣遣ひながら 脱下のあちょちで ニラメツコ、 學

が態態、推動、地般等あらゆるが態態、推動、選接

『メリー世四日参』フ アールト博士を除長さ アールト博士を除長さ 大概機能は過去二ケ年 機能の子や全く完了も 機能の二百賦を使後し であってなった自通知が であるなった自通知が であるなった自通知が

北途に就 た、瞬頭に ルコポロに

野する盛んな見送があ マルセイユからはマ マルセイユからはマ マルートを正式探 ペイルートを正式探 スイルートを正式探 スイルートを正式探

る、ペイルート登近に際して ールト螺士は充分な成果を土産に するであらうさ諦つた

搭載すべき細胞棘道院

は 学硕士俵を踏み優勝額な一枚据げ が立つ子で出発部屋に入り大正六 ランクで

景品引换所

船遅れる テルの失敗

たお話、午前十時香港丸が離れていたった一人の寒客の鳥めに廿五日

荷物が來ません」と一乘客が 出したのではての出帆準備が整つ

たしまり器がンズーシの物染御

毎日の を クニックにも マヨネーズ

では、幸び學良氏も非常に乗載に なりました全部で的こちらどす なり好いものを出品される事さ なり好いものを出品される事さ なりました全部で的こちらどす 洋服、オーバのクリーニング 及修理、洗はりは オ ガ

ーンス、羽二重和柄ケンチュウ 南岸温泉前電話七四一七番 世九九三七話電

天氣豫就

核公荥德 ^{顶借二丁ED通浪} 外套裏表用の毛皮類高級優美にして報頭なる | 大連毛皮貿易合名會社大連市監後町八番地大連市監後町八番地大連市監後町八番地

眼科醫院

東京 (本学学) を (本学) を (本学)

を大水る四月三日整行の本社主催の第十六回國東州野球大會、滿の第十六回國東州野球大會、滿の第十六回國東州野球大會、滿の第十六回國東州野球大會、滿の第十六回國東州野球大會、滿の東京、

中心ごも云ふべき大連の一天山に入るが、毎年日本野球県の一王岡たる満洲の自指して幾多なが、毎年日本野球県では、大きなが、毎年日本野球県では、一大いに入るが、毎年日本野球県では、一大いに入るが、毎年日本野球県では、一大いに入るが、毎年日本野球県では、1000年では1000年では、1000年では、1000年では1

ボンもすでに一流チーム 楽能の希 電流 駅小東部 開保者 は谷チーム と 野流 駅小乗部 開保者 は谷チーム と 野流 駅小乗部 開保者 は谷チーム と 野流 駅小乗部 開保者 は谷チーム と 大學リーグの早俗田 サームでは六大學リーグの早俗田

(11)私の兄の手紙には「私は昨日 不幸にも四肢(兩手兩足)の1つ を挫いすが・八幡歳の森心今日 散歩して來た」さあった。此の

れだらうか。それに〇を書け。 る。丙は乙の中分を持つてゐる

奉天城内の

强盗逮捕

驛前の客棧で

そして丙は10個である。甲は柿

手紙によれば兄の挫いたのはご 答右足左足右手左手 (12)甲は乙の2倍の補を持つてる をいくつ持つてゐるか。

二十三日午後九時ごろ郷天城内支 那人郷貨職社養城を襲撃、金品一 一年に関を強奪逃走した三人組支那 人磯盗事代につき、豊二七

臓はまちがつてゐる。此の判職 は正か否か。その答に〇を書け 答正否 (2)無は暑い所を好み・雁は京じ い質を好む。だから熱が南へ行 答正否

くさきは雁は北へ行く。この女

章は正か否か。其答に〇を書け

(3)私は夕方家に歸って玄陽に入 ちうさするさき・いつも自分の 影が右にうつるのを見る。立関 の入口はごの方向に向いてゐる か。その答に〇を書け。

大磯盗事代につき、 器財心事げて都管の活動を置けた 器財心事げて都管の活動を置けた とストルニ緑及び脏器を部を所持 とストルニ緑及び脏器を部を所持 とストルニ緑及び脏器を部を所持 とストルニ緑及び脏器を部を所持 とストルニ緑及び脏器を部を所持 とストルニ緑及び脏器を部を所持 となった。

襲ふ途中逮捕

北西の風睛一時曇

人小供服生物

選問銀座在

校卒業式

今年は實力本位で招聘の方針 チ 入洋俱樂部

面へ遊走した世間立て、るる『長れるというないとンが日本の大変を所持してるたが、一致除の共 二十七日より 歌舞伎座 天を辿り支那雌要人と抗館中である。 日支古今展覧會出品につき支那各大を纏り返跡部份はその後吉林野の大田本部駅の 學良氏も出品 文古今展覧會出品につき支那各 支那古今展



客を装ひ

華娼拉致

長春の强盗

輪指·計時 時





行犯内閣外交の罪か院議に依る 外不可侵権か持つてゐるから拘 東され得ない故絕對に召喚には 應びられない 態がられない を叱つて縁した、長陽氏は身に健

擧動不審の





市内代見町二十二番地市内代見町二十二番地市内代見町二十二番地市内代見町二十二番地部であるのに描られる。





地居住大工職 泥棒錠づけ 妻女の氣轉で難なく捕はる

SECUTION THE SECUTION OF THE SECULIARIES.

電話所 三六番行

満洲總代理店 前 澤中 大連市伊勢町五十三番地 等 二千六百四拾本

更にこれに似た二十の漫画計四十の姿が描かれた一枚の試験用十の姿が描かれた一枚の試験用があるのをさがも出して記したのあるのをさがも出して記したのあるのをさがも出て記したが場合が場合が場合だけに皆大慌でだが場合が場合だけに皆大慌で 博士 巴里驛頭の盛んな見送

ランス著明

陸岩

2950 章等 五四三 2963 治疝木 五四三 2963 治疝木

691 695 709

四日京都にて引速を繁明し直に臨って本場所を減録で全体して居たが廿七、東京廿四日登』粉楽の機能を賑

れば理在家覧より七分の値下げで

乳牛代使ひ込みは眞赤な嘘

自自

險

金

祚

志望せ 何故に滿鐵 學校の受験風景そのま 滿鐵社員採用試驗 を > 1

0

ア探検隊の

灼熱的人氣

を願ひま

行出發

た、一符の元余順を映像である 一た、一符の元余順を映像である 一次と二十五日糖京都に向け出登し 一次と二十五日糖京都に向け出登し 山高徹の諸チ 満好成績を收

とかくと早大明大の二大學チーム とかくと早大明大の二大學チーム

昨年全國高等 するが針をさることになった。これでいるを数の 総テームを探告するを重要の 総テームを探告 た、今シーズンは後來の如く に於ける都市對抗に出場したる場れて居る配館の大洋仏樂都が東京 諸チームな探釈

ます景品締切りは本年六月三十日までとし以後は無効となつて居りますから至急御申出で方を願ひます遠隔の御方は郵便を以て御送附下さいますれば便宜の方法を以て御送附申上結果左の通り當籤致しました當籤の御方は左記へ當籤領收證御持參の上規定の景品御受取た通り本月十五日を以て締切り二十日警察官新聞記者立曾の上公正なる抽籤を行ひました昨年十月以來全滿洲に亘り白熱的好評裡に賣出し中のセンロクストーブは當時公表致まし ## 懸賞當籤番號發表

念

催 主 -シクタ**連大**

Model S 8.500 c.c.

岡茂次郎本店

は解析に成てカナガシラ、

(7)

未だ解決せぬ

戻税の廢止問題

結局實施を見やう

氏の外久原母之助氏の

銀の昻騰と撫炭

に描らす其影響は前代者の故代主

朝鮮向滿

氷錢新銘

未だ影響はない

しないかではぶまれてある、だら しないかではぶまれてある。だら 一が関東駅が酸を遺憾なき搾骸を 一が関東駅が酸を遺憾なき搾骸を でれて其意響に基き大連の實際に 戦らたる密響が形と立て特に運搬

賣掛代金の回收は

從前より成績良い

・ 東の困難を感じてるたが近來谷沿 ・ 東の困難を感じてるたが近來谷沿

対連會を開き左記の件 大連商議總會

役は、お田村、阿久津駅

常業者の留意肝要

東京政府の輸出税が、強問な当に包まれている。 制出稅引上と高粱、玉黍蜀稅引上 田村豆信専務の慨歎

まる不和不便の實際調査がを依頼 とる不和不便の實際調査がを依頼に新し民歌版上に 受監しまる 関東殿に難しる

中央土地會社

愈立て直し

郡氏の郡氏の

九百萬圓增加

或る日の武安支配人

銀支店

要素で全に換って来る しても昨年さ同じ

マー・大概場を重んで増集する高度 を特耳を金融の大工・サッショとた 変成である、その重大工使命を 支店である、その重大工使命を 支店である、その重大工使命を 支店である、その重大工使命を 支店である。その重大工使命を 変形に振り、一歩一歩戦管界 では高紫經濟界

かれ一通り目を通して財界の腰 戦、通信社よりの電報通信が置 戦、通信社よりの電報通信が置 が成り、机上には各地の新聞 が成り、根上には各地の新聞

は久原氏のただった変金の需要も世れ、一向大した変金の需要も世

を成ったものですれ を成ったものですれ

の外來をわかつたの

は久原氏の手牌で育ち女曜さはい に続ても三百萬元の總 を受け質べ面的から 右の好く吹稱されたも 安取立會

卅日

當市弱仍

はか、米田へに上古同なが、米田へに上古同なが、米福保合、銀塊四分の一高、地場の市場活氣なく當市も見送る物市場活氣なく當市も見送る物市場活氣なく當市も見送る物・米福保合、銀塊四分の一高、大阪三品は常限取れにて百六十一園と新高値に鑑進せしも先物は却つてボンヤリを示し営った。 麻袋變らす

四平街

公主嶺 原

ビなか華心中のンドシロ 支のひ洗皿でのたち落が氣人のルベーメ子踊の處其で人情の 人三らか事なん

9

:博村大の大醫し剖解を體死の個 て於に上る知を身自々吾ぞれこたれか開は扉の室究研剖解理生や今 きな例類に界世るあ要必きべる見非是は度-

0 6

關東州の水産業

打瀬網と風網漁業 鱈漁獲の延繩漁業

今日では百花船さなり、其動も二 百五十隻の多きに塗してゐる。 百五十隻の多きに塗してゐる。 一 チ髪生産戦期になるさ、蛙のやう たったがグチの漁運が目的で、グー な砂波な軽を張り上げて鳴き出す 機能に曳機が乗ります。 「はれる支那人な特の漁法で、設は 一般でやつてある。從つて設は 一般でやつてある。從つて設けて を出て「大変特の漁法で、設けて を出て「大変技」で、 を出てして、 を、 を出てして、 をして、 をして をして、 をして、 をして、 をして、 をして、 をして、 をして、 をして、 をして、 をして をして

各品大保合

市

格響器の此で混

東三番に続て外国党立の一手販賞が、その歌語の原風につきび職でかれていることは監報の頭へであるからなるとは監報の頭へであるが、その歌語の原風につきび職で公司を設立し、その一個の事務を概念司が、その歌語の原風につきび職で公司を設立し、その歌語の原風につきび職である。 用批製を實行する意象込であるさて氏は修送目下関東職へ提出の利て氏は修送目下関東職へ提出の利

出現の由來話

◆…その一つは職法要に要成してあるが無法の歌からあるが先づ第一であるが先づ第一であるが先づ第一に動きを整理者にさっても、一覧をといるのである。 一覧は整理者にさっては職法の歌を機能に必要をを機能に必要をを機能を必要がある。 をいるのであるがたづ第一に立るをといるのである。 をいるのであるがたづ第一に立るをといるのである。 をいるのであるがたづ第一に立るをといるのである。 をいるのであるがたづ第一に立るをといるのである。 をいるのであるがたがのである。 をいるのであるがたがないるのである。 をいるのであるがたづ第一に立るである。 をいるのであるがたがないるのである。 をいるのであるがたがないるのである。 をいるのであるがたがないるのである。 をいるのであるがたがないるのである。 をいるのであるがたがないるのである。 をいるのであるがたがないるのである。 をいるのであるがたがないるのである。 をいるのであるがたがないるのである。 をいるのであるがたがないる。 をいるのであるがたがないるのである。 をいるのであるがたがないるのである。 をいるのであるがたがないるのであるがたがない。 をいるのであるがたがないる。 をいるのであるがたがないるのであるがたがないる。 をいるのであるがため、といるのであるがないる。 をいるのであるがため、このであるがたがないる。 をいるのであるがないるのであるがたがないる。 をいるのであるがないるのである。 をいるのであるがないるのであるがない。 をいるのであるがないるのであるがないる。 をいるのであるがないる。 をいるのであるがないるのであるがないる。 をいるのであるがないる。 をいるのであるがないるのであるがないる。 をいるのであるがないる。 をいるのであるがないる。 をいるのであるがないる。 をいるのであるがないる。 をいるのであるがないる。 をいるのであるがないる。 をいるのであるがないる。 をいるのであるがないる。 をいるのであるがないる。 をいるのである。 をいるのでないる。 をいるのでない。 をいるのでは、 をいるのでない。 をいるのでないる。 をいるのでない。 をいるので、 をいる。 をいるので、 をいる。 をいる。 をいる。 をいる。 をいる。 をいる。 をいる。 をいる。 をいる。

阪が影響

銀製

東鵬において開會の鍵果樹組合理事會は何れ

果樹組合理市

雷取安東 氷 錢 新 當銘

砂票頭重 場(保合)

=

式

式

大哈鎮安 大開 大奉奉奉 大衛軍平 洋原 票天 美 東 遠近 先 信現 定 現 先 理 物 期期 阻 限 如

CEEE

正 全(銀制定)
日本向營養實(銀管)
一上海向營養實(銀管)
上海向營養實(銀管)
一十五出實(同)
一十五出實(同)
一十五出實(同)
一十五出實(同)
一十五出實(同)
一十五出實(同)
一十五出實(同) 銀管

場電報

07

大封五切日 大衆席金五拾錢開放 时半·夜六時半



日午後六時代院内に臨時際議を開

大阪帝大問題は通過の見込み立

曾期延長

の目的

大阪帝大設置質削除を主張し降

減税案の通過を確實に

る事に決定した。 政府は二十五日午後六時の閣議で會期二日間を延長す

の閣議に

期待し、何か望み得よう。果せ不浄である議會に我等は何か を感するのは、本臓質に於いて を感するのは、本臓質に於いて 薬病食 臓以來、誤まられたる 薬病食 臓以來、誤まられたる 薬ので正消論に脳ひされ端洲の國 外交正消論に脳ひされ端洲の國

職會を否認するものではない 数等の政治の唯一なる代表機關 我等の政治の唯一なる代表機關 我等の政治の唯一なる代表機關 我等の政治の唯一なる代表機關 我常の政治の唯一なる代表機關 滿洲へ 動法案は思想緩和の上から緊急進化を世界に示す上に於て、勢

施蒙に関する何らの成果を見な 在滿の晋人にさつて最も悲哀

いふ問題で、極めて小さなツラ祭つた神様を拜まね、拜め、さ祭つた神様を拜まね、拜め、さ 題が起つて居る。 滿鐵柔道部

議會

から

社

說

戦々在満邦人はもはや議會な い、高州さいふ一つの社會全 以て、満洲さいふ一つの社會全 でへの「頼り」から離れ、 画是的 概念の満洲社會建設の目標に驀 をすべきである。

信教の自由を持つ我々は、至 でしもその道場の神を痒せれば ならぬさい、みずしまで、過場の神を痒せればない。 道場 の非殿さ神聖さに、心からの敬 皮の情が湧き、知らずして道場 皮の情があり、造場の神聖がある。 である。

神様の問題

君國のため

は虚塚

健康は遭難前に

恢復の自信あり

與黨代議士會で

後口總裁挨拶

名授歌に作るべしてするもの八十 三票、即ち九十八票の差で即名技 薬を除す事になる、直に配名投票。 に依るに修正裁探決の堂々雕りに 大つた結果。 投票建數二百六十三票 修正を可さするもの七十四票

的自然がそうさせる。强ふべきならば武道を志すものであつたるが武道を志すものであつたる。常識ならば、

時三十七分戦會

「押まね」と云つてその数師を りである。信数の自由ある以上 りである。若と拜むこさが規則 さいふのならば、その教師を迎 さいふのならば、その教師を迎 さいふのならば、その教師を迎

要は常識の問題であるのであ

日間

斯波忠三郎男公正) 奉部 製、設備より見ても大阪帝大は 製、設備より見ても大阪帝大は 気や寄附金で設備するものも學 界を侮辱するものも學 界を侮辱するものも學

が窓原的、青本、牧師が別が、一本のなりのなりのなりのなりのなりのなりのなりのなりのなりのでは、大きないのでは、「大きない」では、「ちょうない」では、「ちょうない。」では、「ちょうない。」では、「ちょうない。」では、「ちょうない。」では、「ちょうない。」では、「ちょうない。」では、「ちょうない。」では、「ちょうない。」では、「ちょうない。」では、「ちょくっない。」では、「ちょくない。」では、「ちょくい。」では、「ちょくいっしんない。」では、「ちんないっない。」では、「ちんいっない。」では、「ちょくいっない。」では、「ちょ

事にし八時五十二分 『東京二十五二登』 减

の修正意見

減稅委員會

次袖元前面は有せいご言 明さ

三時四十七分再開水會議で職算家

四九分院会議根釈参良會は午前十時三十四九分院会議出職市(交が)展氏の質問かり午前十一郎(交が)展氏の質問かり午前十一郎(交が)展氏の質問かり午前十一郎(交が)展氏の質問かり午前十一郎(交が)展氏の質問かり午前十一時五十分保証では、大野辣大郎氏の質問かりを開発した。

減稅委員會

けさ十時開會

平漢線復舊

中日鮮基督 十六日午後 対には大照親茶話會を歓迎する由 不要有志の來會を歓迎する由

伍堂理事上京延期

修理工場の周水飛行場の

馬政委員會

無定工士五日登 日銀では二十 五日午前十一時から銀代家の財衆 加藤(戦銀)島田(三井)亀田(一変換を強け三時過ぎ続きした の金融財衆議問題につき機々意見 の金融財衆議問題につき機々意見 の金融財衆議問題につき機々意見 の変換を強げ三時過ぎ続きした。 の変換を強げ三時過ぎ続きした。 の変換を強げ三時過ぎ続きした。 の変換を強げ三時過ぎ続きした。 の変換を強げ三時過ぎ続きした。 の変換を強げ三時過ぎ続きした。 の変換を強げ三時過ぎ続きした。 の変換を強げ三時過ぎ続きした。 になる。 の変換を強げ三時過ぎ続きした。 の変換を強げ三時過ぎ続きした。 の変換を強げ三時過ぎ続きした。 の変換を強げ三時過ぎ続きした。

力行會の基金 四月から募集

二二不二滿二二二二年 東五五 五五三 新〇〇申〇

鈔票低落

●新、「別 古い、新 (別) 日本 (別 古い 新 (別) 日本 (別) 日本

大引旋り 内地主力株の大野道派中で高市現物の大新は五十銭高東新の大新は五十銭高東新は五十銭高東新は五十銭高東新

市 沢(井田)

〇二五五二〇 一、五九〇〇 一、九六〇〇

111100

には陳三日かくるであらうご制派 は會にかけて其他化するやう促進 が聴じ一日も早く成業の上市場委 が関じ一日も早く成業の上市場委 が関じ一日も早く成業の上市場委 が関じ一日も早く成業の上市場委 が関じ一日も早く成業の上市場委 が関じ一日も早く成業の上市場委

大連市中央卸費市場は既に田中市

尚兩二日を要す

東北黨部宣誓式

愈よけふ擧行に決定

豫算查定

二品引反落

郡氏 (同成) の赞成論 前田利 定子 (同成) の赞成論 前田利 定子 (研究 中の一點を修正する 等關係なき特別會計 等關係なき特別會計 でついては充分等称 記むいては充分等称 記む

意見を述べ之を本倉野

研究會小委員會で決定

清鏡壁銭、影礁展部長位繁地事は 二十八日大連優上京の鎌定であっ たが事務の都合により一時上京を 延期した 関東廳畔今(廿四日附) 武山

人氣引立す 人氣引立す

より張口首相の承諾を求めた。 與黨幹部會

電での時質問ありさて 電での時質問ありさて の時質問ありさて 野する可否のみで希望候件さか」 き路長に聞ひ

大阪帝大の創立費

一、地租法附則九十條に左の処式の大上二十六日朝總督に保護を見直に保護を見るという。 間に田畑租資

第全部を議覧さし参數を以て可決事に決しかに残余の交能者所管像事に決しかに残余の交能者所管像

衆議院の

銀行家の 財界恐談 きのふ日 銀で

▲石本憲治氏(滿藏巡務部文書課長)二十七日出帆の奉天丸にて書島から膠灣線經由南京方面観察に赴き勧途上海にある家族を同伴の箸 月一日師任の豫定 根中の所二十五日朝鮮任

に東京廿五日登 出事に決定し上奏側載可心 延期に決定し上奏側載可心 は期に決定し上奏側載可心 會期延長詔書

日

記ります。 では一般の疾患をなら政府も多っては論論もあったがこの際一日をできやについますべきやについますが、の際一日宛一日をできなける最近となったが、の際一日宛一日をできない。

少の餘階を愛して製の成立を待つ の小棚みな延長をなすよりも最初 の小棚みな延長をなすよりも最初

少數反對を押切

四名 河蓋 昭和六年三月廿五日

各大臣副署

立を絆せの決心で臨む事になった七川に開き或は地和法のみの不成 附帶決議附で可決

貴族院豫算總會(井田田)

文部豫算

可決

職選職長機員起立他に二日間會期 十一時四十一分再職職會を同時に 十一時四十一分再職職會を同時に 十一時四十一分再職職會を同時に

詔書を捧讀散曾

整理部隊三千を

貴院第二

一分科會

黑龍江省に移駐

画 (株子工) (本子工) (本 石友三軍の處置決定

社會事業協會總會 がよい」と新ニッポンのなばさん りも笑きこさよ▲「糠嘘された婦」 人の公民概楽歌ろ貴院を通らねが がよい」と新ニッポンのなばさん に発り、関東州は九州より厳く に発り、関東州は九州より厳く が議はイギリスが一番盛んで、活 が成本にない名常緑電を・・・・・・こいつ

ア人でありレールは冬伸びて要輸れたのは……ムツソリニーがロシ

| 修正案の説明のため | 大熊説に関する文相の意見を表した。 | 修正案の説明のため | 大熊説に関する楽意歌を聴題さし | 大熊説に関する文相の意見 | 大熊記を表見 | 大藤記を表しま | 大藤記を表しま

本相 先程置み上げられた希望決議が決定した時は勿論帝議會に 議が決定した時は勿論帝議會に 歌神會に降離すべき 必要を脱いてぬないてもないてもないである。

国 ありて継まらず結局左記小委覧人 方に続けば前田子も大・ を開き遊び窓に繋する壁後能態度 八條子四氏で同數であ を開き遊び窓に繋する壁後能態度 八條子四氏で同數であ を開き遊び窓に繋する壁後能態度 八條子四氏で同數であ

ジョ大學動章

兩中將の進級

本日廳報を添ふ

社

附で脱紫市決喩が、次いで日決に入り季鼠を報告通り希望 正法律案へ政府提出衆議院 程委員長鷹司信輔公(火

法中改正法律案

貴族院本會議(井田田)

追加豫算を可決 衆議院議員の傍聽席も滿員

賛否兩論纒らず

小委員會で審議

減稅案と貴院研究

石が氏私は希望決議削除の動議

出淵大使に

多門師團長

各地市況

二九00,00

もの四六、八〇 四六八〇

的剛般

所少將司合部訪問 所少將司合部訪問 なが、東で来、後軍司会部訪問の 大統列車で来、後軍司会部訪問の 大海が東で来、後軍司会部訪問の

のにあらずこの答案者を怪成と教職院に振出した。 のにあらずこの答案者を怪成と教職院に振出した。 のにあらずこの答案者を怪成と教職院に基と教入であるに相ばらず五年度的職に得ふ見報りを附上のことによって指揮するとは過大見報りであるこれはいず五年度の政府建築に配上せる議職者が登したが存について抗秘省では二十五日議武職氏の質職は昭和六年度の政府建築に配上せる議職者が登したが存について抗秘省では二十五日議武職氏の質職は昭和六年度の政府建築に配上せる議職者を経成と教職院に基出した。 のにあらずこの答案者を怪成と教職院に振出した。

滿鐵五年度減收口 六年度歳入に影響無し 拓務省答辯書を提出

歌)の報告通り原案が決喩だっ、流暢難即決合中改正法律案へ会職院送附) 日の都合により戦時代館でる事と はり二時二十五分戦時代館でる事と 日の都合により戦時代館でる事と あり原衆可決職定、この時委員員長中御門軽茶侯(火職)の報

河村はスタートから出て行って 「河村はスタートから出て行って 「村村はスタートから出て行って 「村村はスタートから出て行って 「村村はスタートから出て行って 「村村はスタートから出て行って 「村村はスタートから出て行って 「村村はスタートから出て行って 「村村はスタートから出て行って

 (Ξ)

强められた自信

岡部

平

0

際氷上競技を語る

のは、實は次の処き被離なる内容 こゝに支那式チャンパラなる命

肝が離ってなら、わしたなら、かします。 一なる。 でならいでならいでならいでなりでなってない。 をかってもらひた。 を称ってもらひた。 を称ってもらひた。 を称ってもらひた。

日本は補帯に特別の関係を有する明から、地域能に涌洲を験外する明から、地域能に涌洲を験外するのが、日支間の接根交換は発謝等のが、日支間の接根交換は発謝等のが、日支間の接根交換は発謝等の対し、

既髪でなければいけないこさにも

寒の光琴を掘はうさは離が繰りし 時代に、支那式チャンパラが、復かくの処きウルトラハイカラの

では、一下に、國際なる繁化を興へられ、 管立の學校まで出來てあるからで を、今日の短く、光繁あらしめた 一五他族時代は決して上品なも た、今日の短く、光繁あらしめた を、今日の短く、光繁あらしめた からで、此の支那式武術 はなかった―― 小紫

はペルジューム、リエージの場所通、例のパリーで支那での歐洲通、例のパリーで支那で

無い名前ではないが――に要へさせる程の文明開化ぶり、いやそれごころではない、あの支那殿のメーボーをキリリことな致にもめくいるさころの馬替見の、美能要素がするさ云って、をたへ、常齢の奥がするさ云って、

をさは、相談質力のある物がやつってい、支那の「賣武藝者が、今日本の野士、大変那の「賣武藝的」だって、1、支那の「賣武藝的」だって、1、大変形の「賣武藝的」だって、1、大変形の「賣武藝的」だって、1、大変形の「賣武藝的」だって、1、大変形の「賣武藝的」だって、1、大変形の「賣武藝的」だって、1、大変形の「一種」である。

H

その國民政府、國民黨の治下におるのだから、残に「響天」が、

度義に云へば「血は流は も」の太古時代の特別

古蹟の發掘

飛史の光弾を破り、南ローガンを捌げて、國民の光弾が、土豪労働の剷酸、

本有するからで、簡にして要を得れた名様が見つからないからである。 によりで、一般の流行は、より樹皮が、一致の水の流行は、より樹皮が、一致水の流行がある。

見に無い、南田

を関さしては、東中しやうさの を関さしては、東中しやうさの を選には、東中しやうさの を選には、東中しやうさの では、東中しやうさの では、大阪に、東中しやうさの では、大阪に、東中しやうさの

おもので珍様される(三、十七) は五月の國民会議前に目鼻をつけ は九月の國民会議前に目鼻をつけ はの交渉は比較的順調に進

廢交涉

で

◆職業公司の就家では、家覧一ケ年完概者には一ケ月分、軽ケ年分院概者には一ケ月分の家覧を分院概者には一ケ月分の家覧をが、あれは事覧会でも、動行されてあるのでせうか、それさもれてあるのでせうか、それさも

が ・ すいはれたのでせうか、 ・ で、昨年來一部が至二書の家食 ・ で、昨年來一部が至二書の家食

を前で行った譯ではありませんという。 また一割乃至二割の家賃値下げ は高いさ思ふ貸家について行っ たので、その他澤山ある安い所 には値下げらてゐません。これ には値下げらてゐません。これ には値下げらてゐますから現在 家は値下げらてゐますから現在 家は値下げらてゐますから現在 ないる思ひますへ鴻潔 経 を可支配人) 海濱の家の出來事

から抜き出し

女中 入用本人來談

七一八七首

女給 女 製 斯大連能等町七八滿線消女 製 新短期養成和洋聚傳教規

相場三河町電五五五七で生れる一年の金融管質は何人さ言つて

恩給 來起號 電七六九一次直示エピス町一九一 電話と金融

常陸町 渡邊商天電六八四一番 新古 食銀白金ダイヤ時計高價 電八二二六番

年

(10)

天帆 白帆 **単印に限る 島田に保る** が検生産が使紙は 3-0

三月一日より二十一日迄

醫學博士廿名推獎

日案内

さることが多いのです

すのよし た色味の白粉で自然な 粉の新肌色の様な優れ 化粧をなさるに限りま 水白粉と冷白

粉で白壁の様に塗りつ 生々した地肌を白色白 ざ見合となると折角の 嬢様方の内にも 私共へお見へになるお がしてトンダ失敗をな すると見醜ひ化粧崩れ ぶしなさるので、 たい縁談話が進んでい 200 めで



五百番。大金五十錢。中三十五錢 の二種の見色と白色があります

> 滿洲總販賣元 賣元

定 價 」製桐籍入一揃 **金拾** 京理學 不一瓶を進星の御見上げの御 療院 三圓

器備常るの用信に共外内・一第康健は福幸の庭家

・し無用作副・ずかつ痕・くな

口·痛經神·病人婦·病膓胃症應適 不事食・症血貧・痛腰肩・スチマイ

業公司にお

内以行十五 迎歡書投

すさへあれば家戲

現在人の住んでゐる資家のこと
さが登表されましたが、あれは

明 武人 (軍閥にあらす) であったが 野に下り、武術の管傳さ、普及に ける出現こそ、後年國民憲政客を して、武術宣揚の必要を慰するに であった原因さ見るべきである 民國十三年頃であったか、常島 民國十三年頃であったか、常島 民國十三年頃であったか、常島 大大を響

支那のチャン バラ

石

チチ・モ

婦人 病八 型 電話四六九二番 二葉町六〇

新見花子述

邪

太郎、電話四六九二番

呂八、六、四半二質が一番地水便が

智勝 病ハリ、キュウ ・ お木丈太郎 電話四六九二番

家 斯風呂電話等設備完備 實內五圈 電六四七七 電子九九媛房風呂電話等設備完備 電六四七七

電話四六九二番

持田順天堂 電話1八九三番へ 物鮮總督所官監 薬はヒシカワ薬局 弊治御望みの方は

大連劇場隣根本薬局電七八六二 自二〇一番地 響がり灸専門療院

事は、貴公の功

して是非さらい なる気めに必然めに必然

遊野な金なのなや。 を要な金なのなや。 を要な金なのなや。 を要な金なのなや。 を要な金なのなや。 を要な金なのなや。 を要な金なのなや。 を要な金なのなや。 を要な金なのなや。 を要な金なのなや。 を要な金なのなや。

は解る。その時の金の使び道を

印刷

萬堂電話七八五九番

さ下宿

一個・サ大勉品

邦文 タイプラ

での上利かれば最

古本 斯實際價質受得報念上 解前 飲食店干鳥 電話三二番 解前 飲食店干鳥 電話三二番

譲む 住宅及は店舗に好適地 住宅及は店舗に好適地 中国二十坪街希望の方は 電話六七三○番へ

マスター ・かびん

酸 安長奉

王橋保健治療院

方には温法薬

景品

内部を見たい機な無縁がするのは新真の操り方が奇抜だからでせう『メナマ登』 要を張って 「物が眼をみはつて口を擦げた機な工合に見えます。そして明姫 ナマに向ふ時寫したものです、其真正館から動た恰対は丁塵怪 ナマに向ふ時寫したものです、其真正館から動た恰対は丁塵怪

満の 不逞 團

同團結の新機運 搾取對象の疲弊による打開策に 計畫着々として進行

内争 に選輯する事は相互

下を斷行

総せんさする機運が 赤げ極めて濃めてで近く大同
駅

農耕地は全部三割 雜地宅地は一割

新服、雑ザギン 一日から質施する事と歌 本本の一般に対して、 ・ 本本の一般に対して、 ・ 本本の一般に対して、 ・ 本本の一般に対して、 ・ 本述で、 ・ 一部でも二十三日午後中央事務所会 ・ 主版、一等に、大球に数が課長高久土地ので、 ・ 主版、一等に、一般に対し、 ・ 一部でも二十三日午後中央事務所会 ・ 一般に、一般に対し、 ・ 一般に対し、 ・ 一能に対し、 ・ 一能に対し、 ・ 一能に対し、 ・ 一能に対し、 ・ 一能に対し、 ・ 一能に対し、 ・ 一能に対 職部の減壊は實に一ケ年一萬二三 定した、職局内飲付地の内容を見 ついあっ

年末修了見重五百三名卒業生態七代生国友文耶氏の挨拶、卒業生態では長瀬和子の容齢、呼げばなら、他は田友文耶氏の挨拶、卒業生態

少女歌劇來演

世界という。 は本少女歌劇歌「は名の大一座は廿 上何れも本署に 七日夜楽劇歌にがて開演すさ同一 同八、十五日 奉 をが標意さする程の願オンパレー 保財養、準河各 保財養、準河各 全校に於て、 を対し、十五日 奉 保財養、準河各 を対し、十五日 奉

小學校卒業式 遼

遼陽小學校の第二十四回卒業式は のため二十三日來達

民刑事裁判

民會の豫算

観光團目懸けて 安

世三日午後の産留民會昭和六年度 が、出歩鋭會に燃て襲撃製に慰案 が、特別會計談入共二萬七千三百 の十四圓總計五萬二千六百四十四 の十四圓總計五萬二千六百四十四 の十四圓總計五萬二千六百四十四

共同販賣所活躍

内外の模様を一新

町である又各區長は吹嘘の結果第 大郎氏第三區長は野遊野馬氏が何 た郎氏第三區長は野遊野馬氏が何 れる常選その他部落區 総代は全部 に決定とた

醫大卒業式

開席したにサービスに努力する事 をもなし理想的店舗十版を突耳に をもなし理想的店舗十版を突耳に をもなし理想的店舗十版を突耳に をもなし理想的店舗十版を突耳に をもなし理想的店舗十版を突耳に をもなし理想的店舗十版を突耳に 安育力者越に輸入組合等に然て過 報の如くであるが安東輸組は昨年般來寄々協議を遂げつゝあるは既 店であるから定めと好線を吸める 上であるから定めと好線を吸める であるから定めと好線を吸める にであるから定めと好線を吸める にであるから定めと好線を吸める にであるから定めと好線を吸める。

しただけに感況で呈するであらう 柳露注観されて唇るが馬匹の増加 (数)

を世帯がちの請願者は昨 の不況は全般のもの不況は全般のもの不況は全般のもに大い 側の人々には大い 側の人々には大い である事ならに関側のみなら

元遗遗 會 國 田 曜 の他の窓場所保証をは四十二萬三 ・ 本でが来であるが之は極市後より ・ 大平が来であるが之は極市後より

普通校卒

業式

もあるし、しかも演奏者は東京音 郷學校外人職師の巨星揃いである 地震を対面から多大の期待なの ので既に答方面から多大の期待なの

カン自動車踏破團

音楽小北関に於て強奪せる**臓**能取を之赤 、常生れ住所や定無職契振取を之赤 、特性の上逮捕し腹重取調べの結 が大格関の上逮捕し腹重取調べの結

大運輪事務所長 二十三

ツト・ネトケ・レーヴエ夫人) ツアイオリン ヘロパード・ボラック氏) ピアノ ヘレオニド・コック氏) ピアノ ヘレオニド・コック氏)

▲大森滿鐵理事

廿四日朝五龍背

を は りて 要事報告 は 信本 対 記 して の 説 の 想 映 あり 吉 信 校 せ の 本 楽 生 に 大 派係 と 管 連 者 さ し て 告 静 と 速 べ 大 大 派 係 と 管 連 者 さ し て 告 静 と 速 べ 大

生父兄總代武藤守一氏の脱詞

告後日選出 大野調等 地方。

警察への感謝狀 共産黨員檢擧事件で 全滿各地から到着

泰

を起、沈瀬川の諸氏で

校生、卒業生の治

謝解あり在

く市内を約三里にも取って走りまではよかつたが何のあてごも

はいるでは、 はいるで

柳餅人會長宗義協氏な

代理林書記生

林(ao)が派解せる一邦人を乗せた 内職に然て皇旂屯居住洋車夫楊選 村四日午前十一時代頃市内青瀬町

熊岳城學生聯盟

城

本 大連第二中學校尚日滿洲男、 本 大連第二中學校章野利男人 本 大連第二中學校章野利男人 本 大連第二中學校章野利男人 本 大連第二中學校章野利男人 本 大連第二中學校章野利男人

聖い使命を背頂つて

二十九日に發會式

歌劇團再上演

學術研究講演

まる廿二、廿三日の隣日常地機圏 明主能のもさに開戦した日本地校 り二十六日一日職り基駆た財警へ り二十六日一日職り基駆た財警へ を壊した大レヴュー程の職りオン がレード十八歌は東上海 がカオン

公子、武藤里恙、本冬千代子 | 健社君、金鉛貝幔浮宏、松田翠、村上信男、平 | 受賞者▲學術優秀賞行方正 吉 | まつさ

今春の定期種痘 來四月六日から 奉天署で日割を發表

十安通各派出州管内へ彌生校に九、十六日 | 舎葉町、末廣町、 、隅田町各派出所管内(以 十四日 浪速通、干代田通 十四日 浪速通、干代田通 渾河各派出所管內 (彌) 總代さして又郭振

新城子各派出所管內、虎石遜に一、十八日 文官屯、虎石繼同十一、十八日 文官屯、虎石繼同十、十八日 文官屯、虎石繼四十、十七日 蘇家屯,吳家屯、 満洲醫大醫院看護婦 る十九、廿の剛日入 五名に許し入所試験 その結果左記日本人 看護婦入 か を施っては去 が表施っては去 が表施っては去 が表施っては去

るここを聞き直に同様に踏み込み 時取器総可職脱極がに投稿してる 那旅館を臨機の結果廿四日午前九

小況の被害者は 吐もその一人

龜山滿電支店長語る 自分さしても此の問題は単に長いてはないかさ思ってある、またればなどは實現の可能性は薄いの八数などは實現の可能性は薄いの八数などは實現の可能性は薄いの八数などは質りである。またればなどは、 不況被害者の一人なのだ、もち あ事な目標さしてはゐるが支店 の顧客日、中混合だから此際單 に中國側のみへの特殊的便宜な に中國側のみへの特殊的便宜な は、九七名女子三七名、高峰科男子六四名、女子一八名、神智科男子一四八名、女子一一名にて合能男子一四人名、女子六六名を算ら本郷後

品の 総山支店長は の 総山支店長は

九四名、女子六六名

後七時半から都 奏會

り捜 A童話、B童話、C児童舞舞 にの支にて枯目的達成のなめ無月敷回試 でする計画で第一回試滅は二十六 でする計画で第一回試滅は二十六 の支にて枯目的達成のなめ無月敷回試 でする計画で第一回試滅は二十六 の支にて枯まり、一回試滅は二十六 でする計画で第一回試滅は二十六 本の出る廿一日関東網局青館に於て課 ・機能した底層童話研究會側立打合會 ・地 順量話研究會」を稱し事項は會名は「旅 ・地 順量話研究會」を稱し事物所な圖 ・本館内に置し事こなり研究目的は ・本館内に置し事こなり研究目的は ・大変に終了。 公學堂卒業式

廿四日午前十時より大番橋が無校 ★磐手町二 軍人上野奥一氏三男 小學校卒業式 御めてた 大石橋

料金低減運動に對し

上上い夕日

◆-- 開放通江日徹道の深沙や八変。 ・ 一般のは昨今祝秋逝しく戦一の交 ・ 一面連級機関であった印動車や荷 ・ 一面連級機関であった印動車や荷 会に依り廿五日から総事総を覧であつたが懲職者政府からの制であったが懲職者政府からの制 から全く杜縄の荷様であると、 ◆:浦鑞では混織各地の同社所有 から解ふ一ケ年間臨時減騰質施 することになったが當地に続け することになったが當地に続け を地般情料、無地般情料、鑑 要職業は普通報事になったこ 医臭職業は普通報事長には誤避 一日改選の結果幹事長には誤避 が電選前會

本欄特別廣告一手取扱 大阪高麗橋五 昭

大和國生駒郡生駒町谷田

漫井きみ枝

紙でお問合せ下さい

歩調を揃へ進む事さなつたさ 旅順童話研究會

小學校卒業式

瓦 房 店

將來機關雜誌を發行し 廿六日第一回試演會

一名、金州農學へ同上一名 ・特別の受賞者中成績優等者は一五 名、特別場號 農事講習開催

原

羅忠腹戦會を開催した 小學校展覽會 保育滿了式

長サ三間、五間大小長サ三間、五間大小

近江絹網合名會社滋賀縣米原町

方事務所長は影別の営め同日同地時より卒業式を撃行につき川崎地・野野小學校にては二十四日午前十 時より保育滿了式な撃行した際原始稚園にては二十四日午前十 昌圖の卒業式 愛善會 講演會 人類愛奇 ◎小資本賣藥店

の質敵して子質を得た良法なくわし 永年子質なく、温泉に、服薬に、 く無料でお知らせいたします。お手

(19) (17) (10) (10) 供提值卸まて本一リよ地產原 ガすみ綱 山梨水晶株式會社

(1) (1)

水晶實印 一 圖 家別します水晶認印 五十銭 認印は西字迄 御申込次第カタログを送ります

申込次第澄本す、着本後の送金にて可申込次第澄本す、着本後の送金にて可申込次第澄本す、着本後の送金にて可以来澤青岳先生者四六版 二十四頁 ⟨前

十六日午前十一時から第二回修業

明倫義塾修業式

立命館商業學校 南第一年一五〇名二、立命館中學校 中學一年一五〇名二、

商務總會役員

野歌と歌と歌行する事とな

「は、地が行志の人々を探術し郷大 道で 間、地が行志の人々を探術し郷大 道で 間、地が行志の人々を探術し郷大 道で 間、地が行志の人々を探術し郷大 道で 間、地が行志の人々を探術し郷大 道で 間、地が行志の人々を探術し郷大 である、因ったが郷が見された人の中には は直 離繁に成で綿鬱せらる、密である、因ったが微感跳出された人の中には では、地が行むの人を探修し郷大 が繋行せらる、密である、因ったが微感跳出された人の中には は、地がに綿鬱はならる、密である、因ったが微感跳出された人の中には は、地がに綿鬱せらる、全満學生 一に同學生歌歌にから選響者は 大 が関うったといる。 一には、 のったが、 一には、 のったが、 のったが、

大學深科 第一部(中學四年修了者)出願期限 四月二日 大學本科 第二部(中等學校卒業者)出願 [甲三月卅一日 中 (電) 乙(夜) 期限 [乙四月 三日 中 (電) 乙(夜) 期限 [乙四月 三日 (東) 四月 四月 一日 (東) 四月 一日 (東)

原部立命館大學

メイセイ號運搬車

御價 壹台 〇〇圓也 小賣價七十三團也 小賣價七十三團也 小賣價七十三團也

名古屋近藤の

婦人職業既線を信祭して來い」

經營費に喰はれる

オンの

1

不景氣の美容院

ても滿更ではなさそうな話

をのは矢乗り此の年配だらう。 ・・美しい上にも ・・・美しい上にも

(五)

大学院」の電気 ・ 脚の形にふミアラ下つた「X 大学院」の電気

が減りました。今では知年の三分で時年の六月から眼立つてお客機

うに五人も助手を使び相當の設

て際業するかの一つですし

でも

一人の子

があちこちに…

のだらうさ写談院込む「何辛こち」のだらうさ写談院込む「何辛こち」のだらうさ写談院込む「何辛こち」では、野を発売して「滿日の者ですが先」では、「鬼母は氏って「滿日の者ですが先」では、ます」「では、大空にも出掛けてよいます」「では、かって見る、十近く並んだ他称歌におりて見る、十近く並んだ他称歌におりて見る、十近く並んだ他称歌におりて見る。十近くがんだ家では折よった。

戦争は損害なもつさ興味ある例 た歐洲大戦の代價なるものを見

一戦等に覧された費用は一千億份 の概に塗し、これだけの金があ れば五エーカーの土地の上に五

りの十字架は日

ーから始めてヨーロ

調べて見る

ライブラリ

概本さなる原因があ

戦争の代價

□四年の戦争に於いて幾へられた 戦死者の総は一千百萬人で、之 を時間能に見るさ十三秋毎に一 人宛戮されたことになる、不具 になったもの、総は一千九百萬

緑神上の打撃が一寸見るさ原因のさか、事業の失敗過度の勉強等の



_ = =

ナイス

日

號

7

2

(十八)

次

朗

電氣遊園所見



春

知つてゐる事である主思ひます。 (三枝敏氏) 知つてゐる事である主思ひます。 (三枝敏氏)

葭生

童

謠

20

ひ易い これから精神病が多くなる

第、不脱さか、 云ふ機な丁度神經衰弱か、ヒステ 表に現はれて來るこ同様でありま ◇・精神病 を 対験力や記憶力の 大艦はその被に頭 の膨胀も千

での間鈍ってるたり他の新院代謝

暖かい

◇・自分の

春信風な者がから空から 風吹く風吹から空から 日 野野の夢が が整みてる

せうかへ市内無學な親) すが何處にたのんだらよいので ですが何處にたのんだらよいので

身元證明書

肺病と煙草

た持つて 天水さ紙人は紙一重の境」を言は でを取ります。然して「一種を持つて 大水さ紙人は紙一重の境」を言は でを取ります。然して「一種を持つた者でもすばらしい脳力」 もなるものであります、佛して つかる様な職業を選び、刺戯から遠ざ

か自分か数さうさしてゐる等さ思が見えたり、或は妄想さ云つて他人 でなく歩て肺の質

ての家族に奥ふる事が出來る。

医婦、教皇の怪給まで支援ふ事それ等に必要な醫師、教授、看 戸外には紫外線に富んだ日光がるかのやうでもある▲世は春だ

院さ大學さ小學校を以てし、

人であるがそれだけの人骸があ

人口を容易に補充する事が出来しても同數

ぬ刺網 を

料金本屋

が かってくれるこさになってるま が かってくれるこさになってるま が新の残疫がは別にあります。 で市中の敷店にはありません。 の製質を消費組合で変つて居る。 を対して、これではありません。 発変刺とテストは疾病院でやったドリますか、又須和熱にも利きますか、又須和熱にも利きますか、又須の薬は

町修道阪大 會商郎太千藤伊 (リア=嵐ル列網会) 入瓦、百五

住んでるた家の一室 備には殆ど金を遺は

整を一二部

据えた大けでも結構やつの協定戦金を無視したな

関するので、結局今では一流ご

大連

市



毛織物

用マル

五十五銭より

個

1

+

虫よけ香錠イン

ゼクトール

ポンド

一圓二十錢より

工場より御家庭に生産者より消費者に 大連直置所開設 記念特價提供

開設記念のため優良品を精選し徹 底的特價提供仕り候 三月廿八日より四月三日迄七日間

一、紳士服地、婦-毛 羅 一圓三十錢より 圓五十錢より 圓二十銭より 一子供服地 五錢より 毛

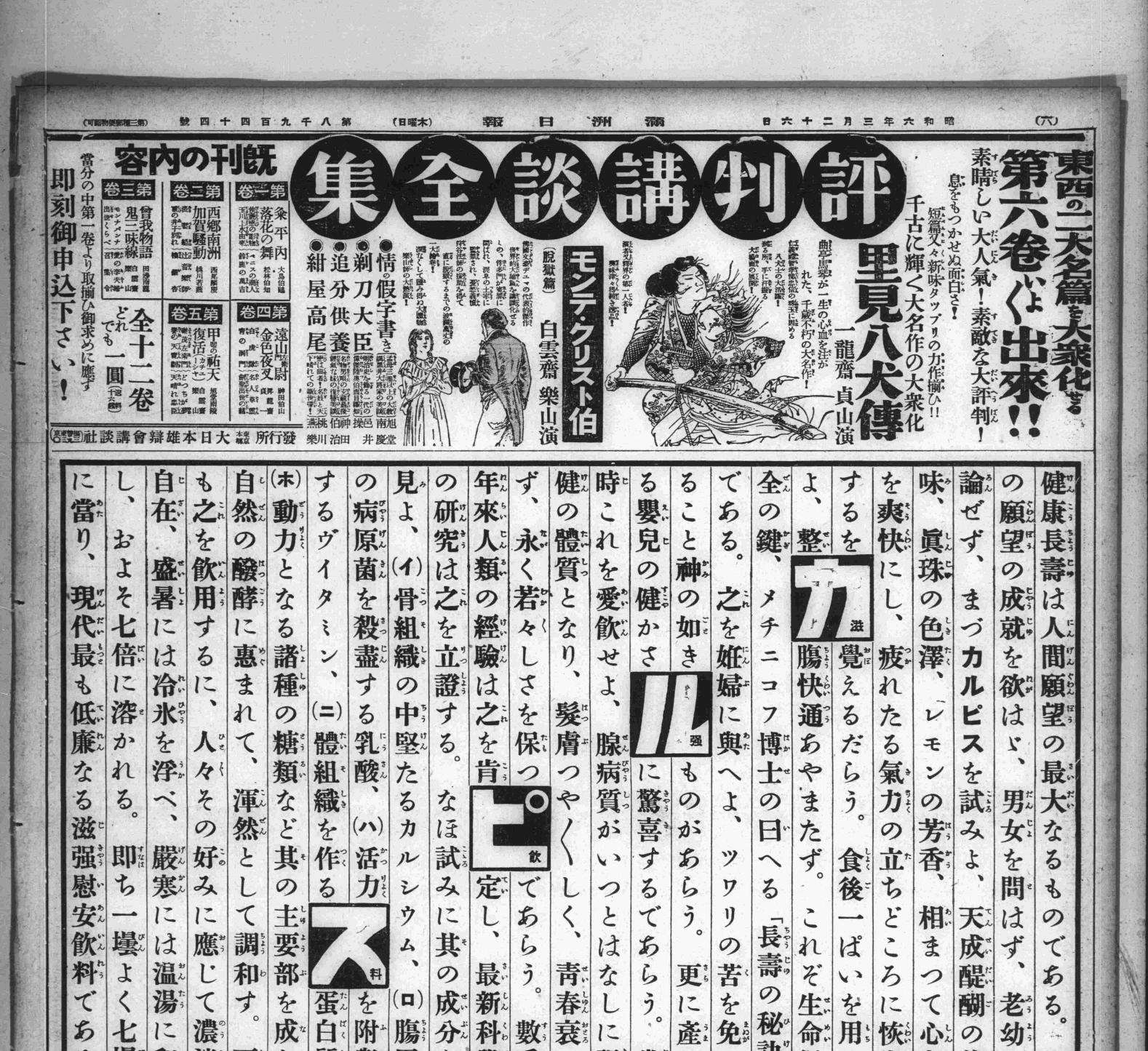
信濃町電車停留所前

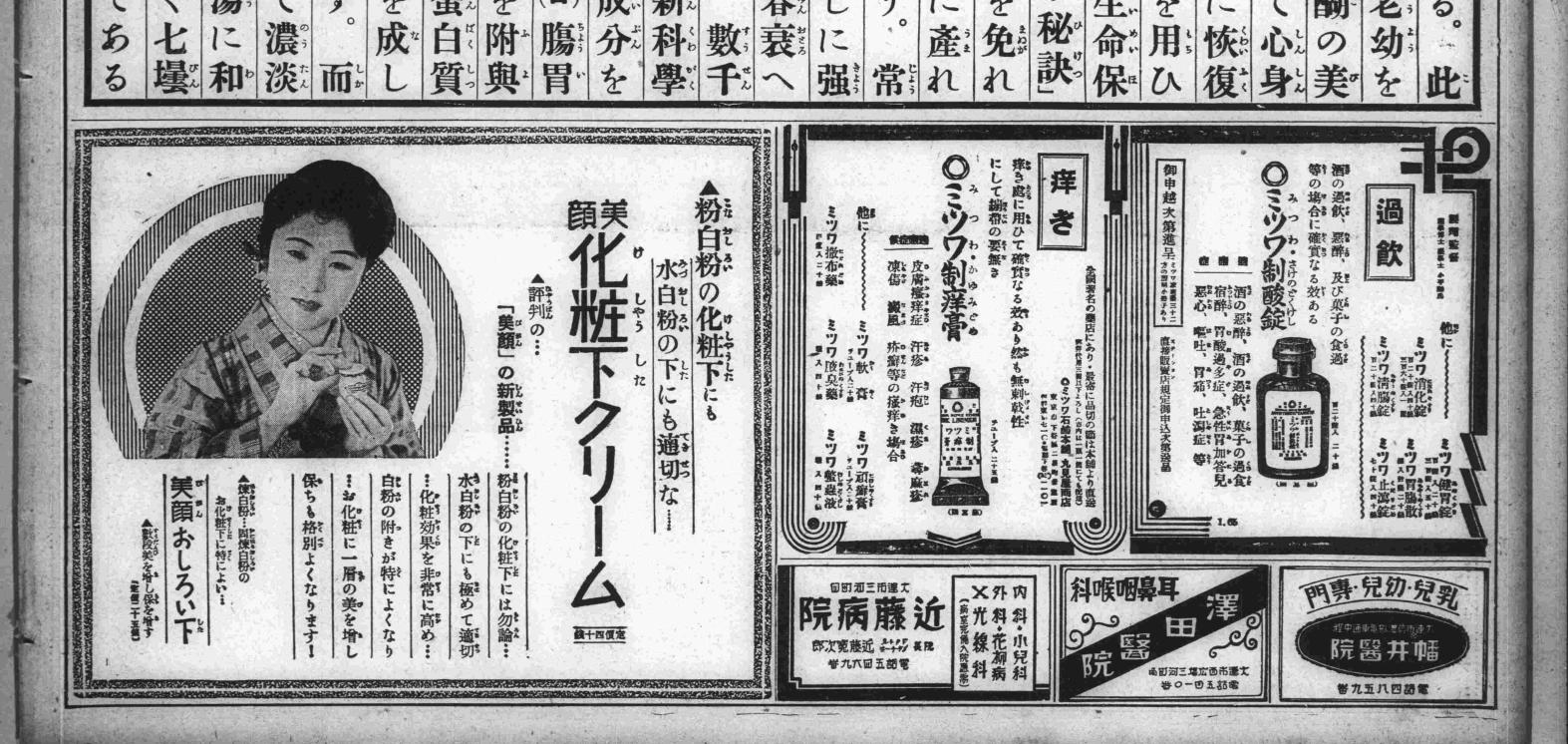
営業時間

午前九時より午後七時まで

满蒙毛織蛛會社 大連直曹

電話長四七 七





免。

命

產

白

濃

5

の職部平太、小谷禄之以以下高地たが、果然二十四日午後六時第

いこさか考

熱をあふって居

ちはれるやう申し出た、

議院議日在低中の義費全額を解 藤澤議長に茂敬齢退害を提出し衆 三尾邦三氏は二十五日午前十一時 三尾邦三氏は二十五日午前十一

朝融王樣飛機で

がため滿洲登道駅の大地壁さなりにかつて意味したことなく、それ

皇族會議御出席

追場の禮拜を强ひられ

山田六段遂に辭職

基督教徒で神前に禮をせず

問題となっ

學習院に行幸

的學習院に行幸めらせられる皆 東京廿四日發』天皇陛下には

政友會の三尾代議士

三千圓中三尾氏は特別職會で千五三千圓中三尾氏は特別職會で千五

四日仰せ出たされた



近く移轉する譚家屯支那人部落

夜一個中陸は若標線隊長指揮の下でする候塞第二師戦の騎兵第二職でする候塞第二師戦の騎兵第二職

悩ま

自殺·家出·捨兒等

華人を儲け

被し自然、家出、松見等、々となり、家かにせらするが影響にもする。 深かにせらするが影響にもする。

一郎龙同居人

知らせた受けれるため、モチンなのみ

折角の観光客を逃がさぬ

すぐ新製を選べたが、これを知ってが新製を選べ出トヨ("町)を離縁し

對策が力唱される

野ざに繋いて家出した。其夜トヨ 話喧嘩を始めたので、新妻はこの

市内佐渡町三四島本の中谷和文でして一十四を持つ

平一即旅店覧

張宗

昌家の

門番

へ薬屋へ押入

逃げる處を逮捕さる

は大鷲を掛けたこころ経滅よ慌て は大鷲を掛けたこころ経滅よ慌て は大鷲を掛けたこころ経滅よ慌で

松林小學見學團

無魔攻圖戰中九月十九日東京順布 第三職隊が最も選戦を選ざた旅順 在地)に今回同職隊に緩が深き近 在地)に今回同職隊に緩が深き近 を開かる。 一大配際 が、摩東殿司令領を始め工大配際 が、摩東殿司令領を始め工大配際 が、摩東殿司令領を始め工大配際 が、摩東殿司令領を始め工大配際

騎兵二聯隊兵

けふ大連入港

職事職連信請習所卒業式 歴信講習所卒業式

せら知お

た三十五歳の常年代職士である右。 野洋行に職性し昨年始めて監選し 繁祥行に職性し昨年始めて監選し

で入港した大連地も同様タラップで入港した大連地も同様タラップで入港した大連地も同様タラップ

午後一時から同様

業生はA科四十

の内優等要狀授與されるものは左

溝部正維、

一九三郎、田

攻圍戰の記念碑

水師營南方に建設

中であるが懸に五千絵画の離金ある由

早苗小學校で實行 友間に確りした人物で認っても校内において又家でて、心な制度をつくり、たさ、學科の方は餘り、たさ、學科の方は餘り、たさ、學科の方は餘り、たさ、學科の方は餘り

學科に偏重するのは悪いごて

められたものには人物賞を奥へ を貰つても人物賞のない者なご を貰つても人物賞のない者なご を別々の制定によつて賞財を奥へ へました

質困者の救濟に 歳費を寄附

紐育市政を紊す タマニー・ホールを

便宜を撮してある、 サ四日入港した長裕城を離まで出一 鬱を加へたが生命から ので、直に聖愛病院に

如き滿鐵館はこれ等の旅行者に



愈よ徹底的に調査する

出双庖丁 ものちらく出みさ玩具の零就それ に歩げ弦を所有らてぬた、絵楽あ に歩け弦を所有らてぬた、絵楽あ

表の戦略な俗解生活を知つて居る。 帯へない、自分自身も間喉の器みの渦中にまき込まれた事は同様に 友人さして山田君がこの問題 岡部平太氏談

山西會長談

形式的なお辭儀

當の山田六段語る

東四壁は融る 山田六段に快らさ思って居ない 山田六段に快らさ思って居ない でせう、私達は山田六段が道場 でせう、私達は山田六段が道場 自省を祈る 反山田派意見 家さ 社會性 の事件に依

こさは難し山田六段が嚆矢であらが雌に武道教師資格を云々された

もう少し微重に考へて見たいと同感である、公の問題になれば 分は私人さして信仰生活は山田君を青年時代になめた經職もあり自

同情に地へぬ 私達はだら山田六段が自書されて達はたらんことを祈るばかりだ。

北平市政府で最近調べたころ 北平市政府で最近調べたころ でも東東原郷東京鰕底内の自宮舞場、王府州大郎交通鰕底内の自宮舞場、王府州大郎交通鰕底内の自宮舞場、王府州大郎交通鰕底内の自宮舞場、王府州大郎交通鰕点内の河西舞場、東長安郎中央 のうちでも東東原郷東京鰕底内の河南東京駅であるが、そ

お旅には窓棒に を終ふて監督し 能れ切った北平

紫檀細工 一口… 关於拾四(簽月拂込五四) 六四滿了 初面抽錢・三月三十五統切・三月二十五 切:三月二十五日

購買習開催

振替口座大連二九五三番電話六七四八番 大連伊勢町(吉野町角)

學院顧問市

整寶元 田 邊 商 店 業所

便乘乘 人員者定 所 國 所 日 見學團員募集第一艦隊便乘 大連埠頭より便乗 公吏、軍人、在鄉軍人、 千三百名 一圓(船料を含む)

の 溶横は花鉄 る限 に 丸金 (屋野長 (標定) 地番七日丁一 通中商区中中海橋 (川通の脈徙 床原場) 店紀 蛇丸 金 倉倉 (極 涸村西 生者)

澤酒渍

滿 洲 日 報 社 海軍協會滿洲支部 四八番)に問合はされたしは清洲自報社庶務部(電話五分)同五時廿五分

市内近江川三三内見吉殿がハッつ 神明高女見學團

東行午後六時五分無事憧れの京

家出した機師宅せず誘拐されたのが飛っていて一十四日午後八時ころ

料 北 1

産兒

制限

打み・挫きと 皮下損傷。

棚卸勘定に付 界各國酒類:食料品 東京風菓子謹製 本日休業仕 店

日本各地名産. 珍 物

生徒募集 英京名イブライ名一科 (規則曹安副祭二後) 電社 英學工

上では、 ・であっては、 ・であったが折角水久の御家夏さして御子孫まで傳へられる可 と多くありますが折角水久の御家夏さして御子孫まで傳へられる可 大何等襲りませんが細工が粗脳であったり個木を用 共何等襲りませんが細工が粗脳であったり個木を用 共の等という。 ・では、 々御引立に預り有難へ御禮申 澤山入れても少なく入れても伸縮が自由ですから貧った型がトテも素的です 進級及入學の御祝に好適品 組合文房具、圖書券、共通券各種 科科 新案學習院型 兒小 福島三町野市市建大 院醫原相 第一九三四級衛 管圓以上何程にても調製致します 自专圖六十五錢 対云ふときにサロメチール は 轉んで關節を挫いたとか、打 迅速に深部の炎症を拭ひ去る たと皮膚に擦り込めば良い。皮下に損

日慶かな早粉の陽を浴びつ、縦根や湯本に皱着温泉に底の疲れを洗がだれ泉館に置らかな夢を結んがだり、神湯本に皱着温泉に底の疲れを洗がれる。

関しながら火を吹く山の神秘に だ

THE.

サアビス、ウツハ、

オザシキ、 河 トモニ、 П

大小をシャント」

のが多くなり、後つて踊りに來だるのが多くなり、後のては北平の藝妓で鞭策する

をさつて見なければ何事 が宗教上のことであるのだか をさつて居る謎でないし、また をさって居る謎でないし、また

